



2026年 1月 7日
第113号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第5号

「横浜線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ (その1・運車)【全26項目】団体交渉を行う! ⑥

15. 人身事故や踏切事故、異音感知等で駅間に列車が停車し、お客さまにより無断でドアコックが扱われた際に自動で防護無線が発報されるように車両を改良すること。もしくは、周辺の列車をすぐに抑止できるような対策を講じること。

【会社回答】現時点において、機能を改修する計画はない。

16. 客室防犯カメラを通信式に変更し、人身事故および踏切事故等で長時間列車から離れる場合に限り、当該列車の車内の状況を指令が注視できるようにすること。

【会社回答】現時点において、機能を改修する計画はない。

組合

会社

ワンマンスイッチ投入時に限り、自動で防護無線が発報されるような改修は出来ないのか。

現時点でそのようなものが出るとは聞いていない。車内への注意喚起は指令から行うなど、乗務員のフォローは行っていく。

ドアコック扱いがあった場合に指令の方で把握できるように改修できないか。もしくは指令室でドア情報画面を見て状態を把握できるようにできないか。

山手線で客室の防犯カメラを指令室で見られるシステムの開発をしていることをプレス発表しており、この機能が搭載されるようになれば指令室で見られるようになると思うが、現段階では開発中である。

現段階では改修する予定はないが、開発をしていくということではどうか。

その通りである。プレス発表で相模線の旅客接近装置と山手線の防犯カメラを指令室で見られるシステムを紹介している。

実用化されるのが一番よいが、それまでの間は駆けつけ体制を強化し、乗務員が車内監視できる体制や、現地責任者が基本的に乗務員室に常駐するなど車内が無人にならないようにすること。

南武線に限らず、相模線などでも駅社員や内勤者など駆けつけた社員が車内で放送をしたりしている。

17. 車載モニターを注視しながら確実にドア扱いが行えるよう、物理スイッチを追加で設置すること。

【会社回答】現時点において、ドア開閉システムを改修する計画はない。

組合

会社

ワンマン訓練において、現に押し間違いが発生している。物理スイッチを追加で設置することを求める。

車両改造には時間を要するので、その時間を訓練に充てたい。

現実として、タッチパネルに虫が付いて反応したことがある。物理スイッチを設置しないのであれば、誤扱い防止対策を講じること。

ホームドアとの連携や、最新技術としてタッチパネル式を導入した。様々な議論があって今の形になった。

18. TASCの停通設定確認をスムーズに行えるよう、TIMSモニターを改良すること。具体的には、ドア開閉画面および運転情報画面の下部にTASC設定ボタンを追加し、TASC設定画面から運転情報画面およびドア開閉画面に切り替えられるボタンを追加すること。

【会社回答】現時点において、TIMS 機能を改修する計画はない。

組合

会社

相模原駅上り停車中にTASC設定の確認を行うが、現行は画面を最低4回切り替えて確認しなければならず、時間を要する。TIMS画面を改良できないのか。

認識はしている。意見は承るが難しい。

運転情報画面にTASCの設定状態を表示させることはできないのか。もしくは、ショートカットキーの統一や整理ができないのか。

否定するものではない。車両関係に伝えていく。

引き続き求めます!

改良できないのであれば、基本動作を考慮した停車時分とすること。

橋本オフィスとコミュニケーションを図っていく。

人身事故等の異常時における対応やタッチパネル式のドアスイッチについては引き続き検証していきます!

次号⑦へ続く